

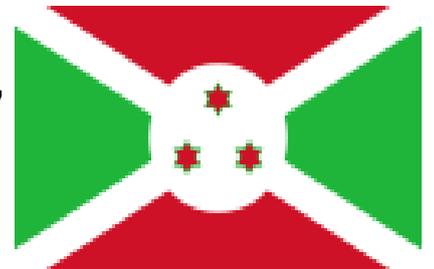
ブルンジ共和国

【国名】

- ブルンジとは、現地語で「ルンディ族の国」（bu 「国」と Rundi 「ルンディ族」）を意味し、ルンディとは「ふくらはぎの人々」を意味しています。

【国旗】

- 国旗の赤は独立闘争と革命を、緑は未来への希望と発展を、白は平和を象徴しています。



ブルンジ国旗

- 3つの星はフツ族・トワ族・ツチ族の主要3部族の「団結」「努力」「進歩」を表わしています。

【国土】

- 面積は四国の約1.5倍(約2.78万km²)です。首都はギテガ(2018年12月にブジュンブラから移転)、人口は約1,086万人です。



【アフリカのスイス】

- 国全体が標高 1,000m 以上で, 2,000m を超える地域もあり, 全体に山がちです。山岳と起伏の激しい高原のため「アフリカのスイス」ともよばれます。
- 高地であるため, 低緯度にもかかわらず, 住みやすい気候であり, アフリカ大陸の中の「気候的・環境的な島」であるともいわれます。また, このような高地にあるため, ツェツェ蠅や, マラリアを媒介する蚊も多くありません。
- 山地が自然の要塞となり, 外部からの侵略を受けることはほとんどありませんでした。



首都ブジュンブラとタンガニーカ湖

【タンガニーカ湖】

- 東西 40～50 km南北 650 kmに細長く伸びるタンガニーカ湖は、水深



タンガニーカ湖と漁民

- 1,470m（世界第2位）の淡水湖で、バイカル湖に次ぐ世界で2番目に古い湖です。
- 「地球の裂け目」と呼ばれるアフリカ大地溝帯の一部をなし、地溝帯内の湖はほとんどがソーダ性で、タンガニーカ湖のような淡水湖は稀です。その水はまったく濁りがなく、クリスタル・クリアーと表されます。
- 世界でも固有種の多い湖として有名で、ここに生息する魚の約80%、貝類の約90%が固有種です。湖の魚は周辺地域に住む人々の主要なタンパク源となっています。
- 湖の周囲では約800箇所では漁業が営まれ、漁業に直接関わっている人が約4.5万人、間接的に依存している人は約100万人といわれています。

【ドラム演奏】

- ブルンジが世界に誇るものに、集団によるドラム演奏があります。
- 大小のドラムを軽々と取り回し、操り、高いジャンプ等の華麗なパフォーマンスとともに、迫力ある演奏をします。
- これに加え、ブルンジには口承の伝統が根付いており、土地の歴史や創造神イマナの旅の物語等の民話や寓話が音楽に乗せて語られます。衣装をまとった背の高い踊り手（イントレ）と鼓手（タンブリネール）とが人々の前で演じます。



- 2005年の愛・地球博には、世界中で公演を行う民族舞踏団「アバティンボ」が参加し、観客を魅了されました。
- 2014年にはユネスコ無形文化遺産に認定されました。



【コーヒー・紅茶】

- 高地の気候を活かして、コーヒー、紅茶を栽培しています。
- 国の中央部、標高 1,600m 以上の高地を中心に栽培されるコーヒー豆は風味豊かで、まろやかさがあり、ほど良いコクとほのかな甘みが特徴です。最上級品質グレードの「ンゴマコーヒー」は、日本語でいえば「太鼓のコーヒー」を意味します。
- ブルンジの紅茶は、輝くオレンジ色の水色、豊かな土の匂いがします。コクがあるのにすっきりした味わいで、ストレートでもミルクを加えても美味しく味わうことができます。

【アロエス・ニジガマ】

- 在日外国人ランナーの草分けで、1995年日本選手権1万メートル走で優勝するなど、日本の実業団の選手として活躍しています。現在でも、日本選手権1万メートル走の大会記録を有し、アトランタ五輪1万メートル走でも4位入賞しました。

【プリムス・ビール】

- もともとコンゴ民主共和国のビールですが、ブルンジ及びルワンダでも飲まれています。コクは少ないものの、とても飲みやすく、癖もない味となっています。